第432号　2021年 4 月1日発行（毎月1回1日発行）

アートフィールドウォーキングガイド

2021 vol.4　（通巻 432号）

ギャラリー

4

GALLERY

［私の10点］ 篠田守男

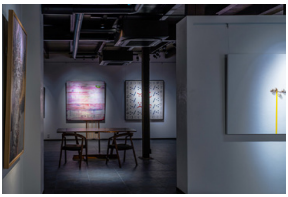
特集　コロナ時代のアート（後編）

アート松井塾　松井守男×朝日謙太（スポーツ・トレーナー）

4月の全国美術展【美術館／百貨店／画廊】スケジュール＆マップ

ギャルリーためながが京都店3月23日オープン
パリ開廊50周年に日本の現代作家を紹介

ギャルリーためながが京都　京都市東山区鞘町通正面下る上堀詰町265-7　075-532-3001
http://www.tamenaga.com



3月23日ギャルリーためながが京都店が開廊した。東京、大阪に続き国内では3店舗目、フランス・パリ店も含めれば4軒目の拠点となる。

同画廊の開業は1969年。東京・銀座で創業した。2年後の1971年3月23日にはパリにも開廊した。それから50周年を迎える同日に京都画廊がオープンした。

京都国立博物館、三十三間堂やハイアットリージェンシーにほど近い七条の鴨川ほとり、京都駅からも車で数分という好立地だ。

爲永清嗣社長は開廊に際し「創業当初はフランスを中心としたヨーロッパの作家達を国内外でご紹介してまいりましたが、京都では日本の才能溢れる現代作家達を核としてご案内さし上げたいと考えております」と述べている。

町屋を改築して生み出された広々とした空間に同画廊が扱ってきた代表作家や新進気鋭の作品が並ぶ。佐野ぬい、深尾力三、智内兄助、蔦島正雄、小川泰弘、菅原健彦、細川貴司、吉川民仁、中村ケンゴ、村本真吾、岩田壮平、藤原由葵、梶岡俊幸、大沢拓也、大竹寛子、北川麻衣子、山本大也、江川直也―「日本文化史の中心である京都に於いて百年、千年後にも残るべく芸術作品をご覧にいれることが出来ればと念じる所存です」（爲永社長）と高らかに謳うのにふさわしいラインアップだ。